

Pick up topics★

地方創生★政策アイデアコンテスト 2020  
保原高校商業科が優秀賞を受賞

伊達な甲冑ニット政宗プロジェクト  
～伊達市ニットで地域を元気に～

大きくて  
温かい  
ブランケット

おうち時間に  
オススメ！  
甲冑ニット

陣羽織を  
イメージした  
ポンチョ

コンパクトに  
折り畳んで収納可

大袖で甲冑  
らしさを演出

家紋を模した  
デザインのロゴ

くさざり  
甲冑の草摺  
をイメージ

特徴的な丸い模様  
は「星」を表す

まつお ここね  
松尾 心音 さん

最終審査会はネット配信で若い人も見てくれたと思います。これをきっかけに伊達市の若い人にも、ニットに関心をもってもらいたいです。

ふじわら しゅうたろう  
藤原 修太郎 さん (リーダー)

住んでいる皆さんに伊達市の魅力を知ってもらえれば広める力が大きくなると思うので、まずは伊達のすごいところを知ってもらいたいです。

ふなやま めい  
舟山 芽生 さん

試作品が届いたらデザインより可愛くなってました。プロジェクトを頑張ったので、ニットを通して伊達市の知名度があがっていったら嬉しいです。

全国優秀賞の快挙！

保原高校商業科では、市と連携し、地域活性化や課題の解決策を考える地域連携授業を行っています。今年度は衣・食・交(交通・交流)をテーマに3チームにわかれ、「衣」を担当した3人の「伊達な甲冑ニット政宗プロジェクト」が地方審査を通過(東北経済産業局長賞受賞)。昨年12月の最終審査会で優秀賞を獲得しました。

3人は緊急事態宣言で学校が休みの間に伊達市の歴史や産業を調べ、ニットに着目。伊達ニットの高い技術や伝統を次世代につなぐため、若年層をターゲットに商品づくりを考えました。おしゃれで知られる伊達市ゆかりの武将、伊達政宗がもし、ニットを着たら…との発想から、甲冑と陣羽織を元にした独創的なニットにたどり着きました。

地元の企業に協力を仰ぎ、ニットを試作。企業からは、商品化した時に売れるかどうか、価格や販売方法はどうかなど、プロの目線からアドバイスをもらいました。

3人は3月で卒業しますが、商品化に向けて、今後は先輩がプロジェクトを引き継ぐ予定です。

地方創生★政策アイデアコンテストとは

リーサス RESAS (地域経済分析システム) を活用した地域課題の分析を踏まえ、地域を元気にするような政策アイデアを募集するコンテスト。(主催：内閣府)

最終審査会はオンラインでの開催となり、インターネットで生配信された。配信を見た人から「甲冑型のニット着てみたい」「若い人に贈り物として選んでもらうのを狙うのもいい」など好意的な意見が寄せられていた。



コンテスト  
ホームページ



地域連携授業の取り組みを発表 (1月20日)